

# 平成 30 年度 保健師活動指針推進特別委員会 事業報告

## 1. 活動テーマ

「統括保健師の配置促進と自治体版保健師活動指針の策定の推進」

## 2. 目的

これまでの活動方針である統括保健師の配置と自治体版保健師活動指針の策定推進を継続し、自治体版保健師活動指針を策定した効果及び統括保健師が果たしている役割等を調査し、会員に発信する。

## 3. 実施状況

回	開催日	場 所	内 容
1	平成 30 年 5 月 13 日 (日)	八重洲倶楽部	【第 1 回委員会】 ・平成 27 年度～29 年度の委員会活動内容 と実績確認、平成 30 年度活動方針、事業 計画の検討
2	平成 30 年 6 月 24 日 (日)	八重洲倶楽部	【第 2 回委員会】 ・自治体版保健師活動指針策定状況に係 る二次調査の検討
3	平成 30 年 8 月～9 月	7 自治体等	【調査依頼と実施】 ・調査依頼とインタビュー調査の実施
4	平成 30 年 10 月 20 日 (土)	八重洲倶楽部	【第 3 回委員会】 ・調査結果の整理と報告書作成方針の確 認
5	平成 30 年 12 月 9 日 (日)	八重洲倶楽部	【第 4 回委員会】 ・平成 30 年度活動報告書の作成
6	平成 30 年 1 月 26 日～27 日	山口県宇部市	【日本公衆衛生看護学会参加】 ・全国自治体の地区活動、現任教育の現状 等を把握
7	平成 31 年 2 月 16 日 (土)	八重洲倶楽部	【第 5 回委員会】 ・平成 30 年度活動報告書の作成

## 4. 結果・課題

- ・指針を策定した自治体では、保健師間で今後の活動の方向性が共有でき、保健師以外の職員に保健師活動への理解を深めることができるなどの効果があった。また、都道府県と市町村が共同で策定することにより、お互いの役割の理解を深めたり、市町村の統括保健師の配置が促進された自治体もあった。
- ・都道府県保健所の保健師が近隣市の共同策定を支援する過程で果たした役割から、改めて保健所保健師は管内全体の保健師活動の充実に向けた支援や調整の役割を果たすことが重要であることが再確認された。
- ・統括保健師は策定過程すべてにおいてリーダーシップを発揮し重要な役割を果たしていることが確認でき、今後も配置を促進する必要がある。
- ・指針の見直しの時期や評価方法について記載されていないものが多かったため、指針策定時に、指針で目指したことをどのように評価するのか記載する必要があると考えられた。

## 5. 委員

○金子	恵子	千葉県香取健康福祉センター（香取保健所）
大竹	美記	茨城県保健福祉部健康長寿福祉課
守屋	希伊子	埼玉県三郷市福祉部長寿いきがい課
守屋	法子	山梨県福祉保健部医務課
石川	奈津江	札幌市保健福祉局保健所健康企画課